

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 19 日(2024.8.19)

【公開番号】特開 2024-28586(P2024-28586A)
【公開日】令和 6 年 3 月 4 日(2024.3.4)
【年通号数】公開公報(特許)2024-040
【出願番号】特願 2024-8534(P2024-8534)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 63 F 7/02 316 B

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 8 月 8 日(2024.8.8)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

遊技球が入球可能に構成される入球領域と、その入球領域に向けて遊技球を案内する案内面を有し正面視における位置を変更可能に構成される案内手段とを備え、前記案内手段が所定位置に位置している場合に、前記案内面によって案内された遊技球を前記入球領域に入球させて所定領域に流下させることが可能に構成される遊技機において、

前記案内手段は、前記案内面の正面側端部に連なる位置から前記案内面に対して立設して構成される正面側立設手段と、前記案内面の背面側端部に連なる位置から前記案内面に対して立設して構成される背面側立設手段とを少なくとも備え、前記案内面によって案内される遊技球が前記案内面の正面側端部および背面側端部の間を流下するように構成され

30

前記案内面は、前記正面側立設手段または前記背面側立設手段により前後方向における幅が少なくとも一部で小さくされ、前記案内面によって案内される遊技球が前記正面側立設手段または前記背面側立設手段のいずれかに当接することが可能に構成され、
前記正面側立設手段および前記背面側立設手段は、複数の遊技球が前記入球領域に 1 球ずつ入球するように、前記入球領域の手前側の流下領域において前記案内面によって案内される複数の遊技球を整列させることが可能に構成され、
前記遊技機は、

少なくとも前記案内手段が前記所定位置に位置している場合に、前記正面側立設手段または前記背面側立設手段が構成されている前記案内手段の少なくとも一部が当接することが可能に構成される構成手段と、
前記案内面よりも上流側の位置で前記案内面に送球される遊技球が当接することが可能に構成される当接手段とを備え、
前記当接手段に当接して前記案内面に送球された遊技球が前記正面側立設手段または前記背面側立設手段のいずれかに当接することが可能に構成されることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0002
【補正方法】変更
【補正の内容】

50

【 0 0 0 2 】

パチンコ機等の遊技機において、遊技球が入球可能に構成される入球領域と、その入球領域に向けて遊技球を案内する案内面を有する遊技機が知られている。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 4 】

しかしながら、上述した遊技機では、遊技球の案内に関して改善の余地があるという問題点があった。 10

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、遊技球の案内に関して改善できる遊技機を提供することを目的とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技球が入球可能に構成される入球領域と、その入球領域に向けて遊技球を案内する案内面を有し正面視における位置を変更可能に構成される案内手段とを備え、前記案内手段が所定位置に位置している場合に、前記案内面によって案内された遊技球を前記入球領域に入球させて所定領域に流下させることが可能に構成されるものであり、前記案内手段は、前記案内面の正面側端部に連なる位置から前記案内面に対して立設して構成される正面側立設手段と、前記案内面の背面側端部に連なる位置から前記案内面に対して立設して構成される背面側立設手段とを少なくとも備え、前記案内面によって案内される遊技球が前記案内面の正面側端部および背面側端部の間を流下するように構成され、前記案内面は、前記正面側立設手段または前記背面側立設手段により前後方向における幅が少なくとも一部で小さくされ、前記案内面によって案内される遊技球が前記正面側立設手段または前記背面側立設手段のいずれかに当接することが可能に構成され、前記正面側立設手段および前記背面側立設手段は、複数の遊技球が前記入球領域に1球ずつ入球するように、前記入球領域の手前側の流下領域において前記案内面によって案内される複数の遊技球を整列させることが可能に構成され、前記遊技機は、少なくとも前記案内手段が前記所定位置に位置している場合に、前記正面側立設手段または前記背面側立設手段が構成されている前記案内手段の少なくとも一部が当接することが可能に構成される構成手段と、前記案内面よりも上流側の位置で前記案内面に送球される遊技球が当接することが可能に構成される当接手段とを備え、前記当接手段に当接して前記案内面に送球された遊技球が前記正面側立設手段または前記背面側立設手段のいずれかに当接することが可能に構成される。 30 40

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 9

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 9 】

請求項 1 記載の遊技機によれば、遊技球の案内に関して改善できる。

【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 9 0 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 9 0 3 】

| | | |
|--------------------|---------------------|----|
| 1 0 | パチンコ機（遊技機） | |
| <u>1 2 5 1 1 f</u> | <u>正面側膨出部（当接手段）</u> | 10 |
| <u>1 2 5 1 2 d</u> | <u>背面側膨出部（当接手段）</u> | |
| <u>1 4 0</u> | 第 2 入賞口（入球領域） | |
| 1 5 0 6 5 | 可変入賞装置（案内手段） | |
| 1 5 0 6 5 a | 側面（案内面） | |
| 1 5 0 6 5 b | 膨出部（正面側立設手段） | |
| 1 5 0 6 5 c | 膨出部（背面側立設手段） | |
| 6 5 a | 特定入賞口（入球領域） | |
| <u>5 1 1 b 2</u> | <u>係合部（構成手段）</u> | |
| <u>5 2 0</u> | 第 1 電動役物（案内手段） | |
| 5 2 0 L | 羽部材（案内手段の一部） | 20 |
| 5 2 0 R | 羽部材（案内手段の一部） | |
| 5 2 4 L | 膨出部（正面側立設手段） | |
| 5 2 4 R | 膨出部（背面側立設手段） | |
| 5 2 6 L | 側面（案内面） | |
| 5 2 6 R | 側面（案内面） | |

30

40

50